

活躍人訪問

vol.74

今回の活躍人

早川 雅信さん



本宮市出身の画家。日本通信美術学園卒業。油絵・水彩画を描くほか、グラフィックデザイナー・工業デザイナーとしても活躍。大調和会 運営委員。日本山林美術協会 委員（事務局）。アトリエ 東京都大田区千鳥 3-16-7-1003



■中学卒業後東京へ

早川さんは旧本宮町万世の生まれ。本宮第一中学校を卒業後、集団就職で東京へ渡りました。印刷業者に勤めていた当時振り返り「とてもきつい職場でした」と話されていました。そんな中で、常に思い起こされるのは、幼いころから好きだった絵を描くということ。その思いを実現にする形で、20歳のときに一念発起し、デザイン関係の仕事に再就職しました。

グラフィックデザイナーをし

ながら数多くのマンションやビルディングのペースを描いてきた早川さん。そのとき培った建物をいかに正確に描けるか、いかに立体的に見せるかといった技術は今のスケッチに生きています。また、油絵や水彩画の作品を多く発表する現在でも、企業の依頼で工業デザインと設計を多く手掛けています。

■ふるさとへの思いを込めて

東京にアトリエを構え、各地の山々や北国の街並みといった風景画を多く発表してきた早川さん。武者小路実篤が主

ふるさとへの思いを込め、描く

宰した大調和会の公募展での入選をはじめ、数々の賞に輝き、現在は大調和会の運営委員などを務めています。また月に9日間、絵画教室で絵画の指導をしています。

多方面で活躍している早川さんですが、ここ数年は、ふるさと本宮の絵を描き続けます。「年を取るにつれふるさとが恋しくなった」と話す早川さん。本宮に帰省しては、美しい風景をとらえ、その場でスケッチを重ねてきました。

最初に描いたのは、雄大な安達太良山と緩やかに流れる阿武隈川の風景でした。100号Pサイズ（風景画）に描かれたこの「ふるさと山河」は、賞を目標に描いた作品ではなく、「本宮の多くの人が心に描くふるさと」を描きました。

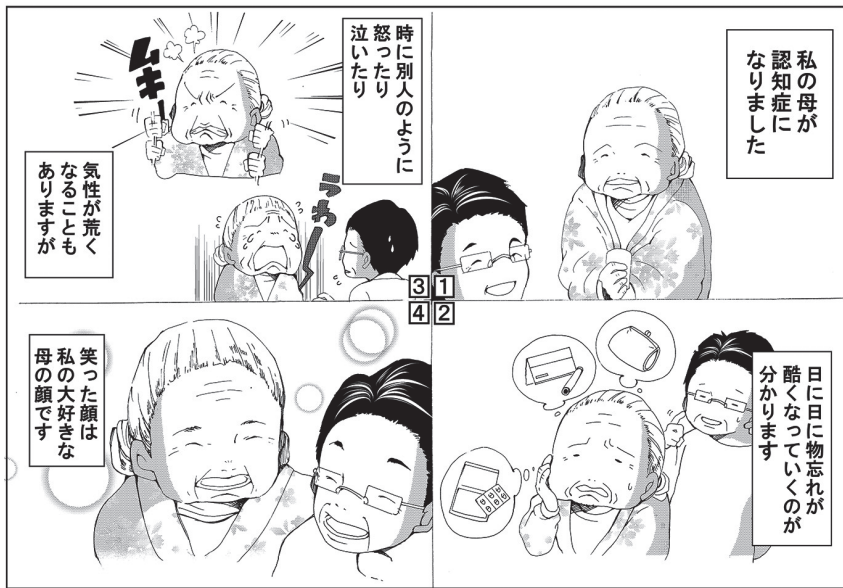
これからも本宮の風景を描き続けたいと話す早川さん。「次は日輪寺の枝垂れ桜や塩ノ崎の大桜のような本宮の桜の絵にチャレンジしたい」と次なる目標を語ってくれました。

福祉まんが つむぐこころ おりなすはなし

第4話

原案：あだち地方地域自立支援協議会
生活支援部会

絵：国際アート&デザイン専門学校
マンガクリエイト科
武田春香／斎藤幸佑



※障がいは多種多様であり、同じ障がいでも一人一人状態が違います。このマンガの内容は一例です。

「もしも親や身近な人、あるいは自分自身が認知症になってしまったらどうしよう・・・」
そんな不安を抱いたことはありませんか。認知症は老いに伴う病気の一つです。記憶・判



生活支援部会
西間木 俊一さん

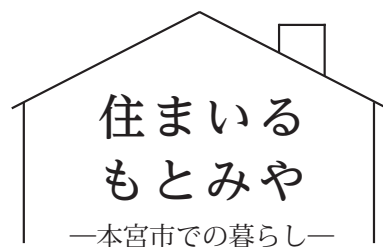
断力の障がいなどが起こり、社会生活や対人関係に支障が出ています。状態をいいます。症状としては、現在の時刻や年月、自分がどこにいるかなど基本的な状況の把握が正しく認識できなくなる、うつ状態や妄想などが現れることがあります。
厚生労働省の報告では、高齢化の進展に伴

い65歳以上の高齢者のうち約4人に1人は認知症またはその予備群であるとされています。認知症になっても安心して暮らせる街づくりには皆さんの認知症に対する正しい理解が不可欠です。家族が認知症になったと気づいた場合は一人で抱え込まずに、介護保険のサービスや認知症サポートターなどの社会的なネットワークを利用し、本人や家族が落ち着いて暮らせる環境を作ることが大事です。

あだち地方地域自立支援協議会とは？

本宮市・二本松市・大玉村の2市1村で構成され、地域の障がい福祉に関わる関係者の連携や支援体制などについて協議を行う会です。

問 社会福祉課 社会福祉係 ☎ 24-5371



■お子さんの誕生を

きっかけに移住

結婚する前は、職場のある本宮に10年間住んでいましたが、結婚後市外のアパートで生活をしていました。

長女の誕生をきっかけに、職場にも近く、落ち着いた場所を求めて、現在のみずきが丘に家を建てました。

■安心して子育てできる

みずきが丘は、同じような子育て世代の家庭が多く、同じ職場の人もいるので、初めての土地での生活ですが、とても安心感があります。地域の見守りの目

がたくさんあるので、これから子どもが小学校や中学校に進むにつれて、さらに良い環境の場所だと思えるようになると思います。



山田昇志さん ご一家

昇志さんは岐阜県、奥さんの美穂さんは須賀川市出身。長女の結衣ちゃんとの3人暮らしです。市内製造業の会社に勤務され、本宮に移り住んで1年半というご家庭です。

移住・定住ポータルサイトでは、本宮市内の不動産や仕事、子育て情報、移住者の声などを掲載しています。

<http://www.city.motomiya.lg.jp/site/teijyu/>

